

高3

## 大学入学共通テスト終了

1月17(土)、18日(日)の2日間、長崎総合科学大学において78回生が大学入学共通テストを受験しました。7年ぶりの総科大受験となり、バス送迎など例年よりも神経を使うことも多かったですが、天候にも恵まれ2日間無事に試験を終えることができました。試験当日の生徒たちは休み時間ごとに中庭に集まり、先生方からお菓子をもらいながら談笑するなど、いい表情を見せてくれました。それもこれも、保護者等の皆様の日頃のサポートがあつてのことだと思います。誠にありがとうございます。

これから私立大受験を皮切りに、国公立大学の2次試験とまだまだ油断できない日々が続きますが、粘り強く学習に向き合っていけるよう見守っていこうと思います。引き続きご家庭での見守りをよろしくお願い致します。



高1  
高2

## WWL中間発表会

1月22日(木)に高1、1月23日(金)に高2を対象に『WWL探究中間発表会』が開催されました。高1・2年合わせて約135チームが、それぞれ設定した課題について、その解決を図る探究成果を発表しました。

限られた準備期間の中でも、仲間とともにフィールドワークや実証実験などを行い、そこで得た学びをもとに、これまでの成果と今後の展望について発表しました。発表会までの準備期間も含め、全員が成長する大きな機会となりました。



3月23日(月)にWWL探究発表会が実施されます。今回の中間発表で、審査員や仲間たちからたくさんの感想やフィードバックを受け、そこで見つかった改善点を修正しながら、本発表に向けてさらに磨きをかけていきます。

高2

## 「こころとからだ思春期教室」

1月16日（金）の7校時に、高校2年生を対象とした「こころとからだ思春期教室」を実施しました。当日は、日本思春期学会性教育認定講師である中山安彩美先生をお招きし、自分と相手を大切にするための「バウンダリー（境界線）」、プライベートパーツの約束、「撮影罪」の定義およびデジタル社会における同意の大切さ、また「性的同意」と、対等な関係を築くためのステップについてご講演いただきました。



生徒の感想からは、「男女間に限らず、人との関わり方について考える良い機会となった」「自分自身を大切にしたいと感じた」など、学びを深める声が多く聞かれ、本教室が生徒一人ひとりの意識向上に繋がったことがうかがえました。

中  
高

## ニューイヤーコンサート

今年のニューイヤーコンサートは、1月25日（日）長崎ブリックホールで開催しました。例年よりも遅い日程での開催でしたが、50名を超える卒業生が共演してくださり、とても迫力のある楽しいステージになりました。現役部員にとっては新体制で臨む初めての大きなステージでしたが、多くの方々の支えのおかげで良い演奏会にすることができたと思います。この経験を大切にして、更に良い音楽を多くの皆様にお届けすることができるよう、がんばります♪



### 生徒支援部より

総務省の「令和7年版情報通信白書」によると、生成AIサービスを利用したことがある人の割合は、令和5年度に26.7%となり、前年比+15.6%と急増しています。文書作成、翻訳作業等の効率を大幅に向上させてくれる一方、作家の表現の無断引用やディープフェイク等、他者の権利を著しく侵害するコンテンツも生み出しています。私たちの思考を助け、豊かな創造につながるはずの技術が、人間の想像力や倫理観を低下させ、不安や混乱、悪意の応酬を引き起こしている現実に、やるせなさを禁じえません。

生成AIを利用して制作を行う際は、成果物が違法な内容を含んでいないかを必ず確認し、倫理観と責任感をもって世に送り出す意識を持ちましょう。また、SNS等で流れて来る映像や画像が真実なのかを冷静に分析し、不用意に拡散しないよう努めることも大切です。人を欺くような悪意ある情報に踊らされない、健全な情報リテラシーを身につけましょう。

# 大会等の結果

## 〈中学〉

- ◆長崎市中学生バドミントン交流大会  
女子ダブルス 第3位 2年2組 宗 愛子  
2年3組 高橋 舞
- ◆第13回全日本小中学生スポーツ射撃選手権大会  
チームライフルチーム 第1位 長崎A  
第2位 長崎B  
チームライフル女子個人  
第1位 3年3組 中田 結菜  
チームライフル男子個人  
第3位 2年3組 相川 京大朗  
チームピストルチーム 第1位 長崎A  
チームピストルミックス  
第1位 2年1組 松本 遥太  
チームピストル男子個人  
第1位 2年1組 松本 遥太
- ◆第52回長崎県アンサンブルコンテスト  
金賞
- ◆第14回JBA長崎県ソロコンテスト  
金賞（県代表） 3年3組 木原 環  
金賞 3年1組 坂田 美月
- ◆第3回煌めくながさき音楽コンクール  
ソロBコース中学生部門  
優秀賞 3年1組 坂田 美月  
3年3組 篠原 愛奈

## 〈高校〉

- ◆第49回全九州高等学校音楽コンクール  
弦楽器部門 銀賞 1年6組 安藝 羽那
- ◆第52回長崎県アンサンブルコンテスト  
金賞（県代表）
- ◆第14回JBA長崎県ソロコンテスト  
金賞（県代表） 2年4組 森田 響友  
金賞 1年2組 秀島 鳴  
銀賞 2年2組 桑田 汐璃  
2年5組 雪澤 理世  
1年1組 大島 理央  
銅賞 1年7組 高木 佳望
- ◆第3回煌めくながさき音楽コンクール  
アンサンブルコース高校生部門  
優秀賞 金管5重奏  
ソロAコース高校生部門  
優秀賞 1年2組 秀島 鳴

- ◆令和7年度全国高等学校選抜剣道大会長崎県予選会  
女子団体 優勝  
最優秀選手賞 2年1組 宮崎 結  
優秀選手賞 1年5組 永田 莉菜
- ◆第29回将龍杯高校剣道大会  
女子団体 第3位
- ◆令和7年度第10回九州高等学校ライフル射撃新人大会  
AR男子団体 第3位  
AR女子団体 第3位  
BR女子団体 第3位  
BP女子団体 準優勝  
BR男子個人 第4位 2年2組 金子 晴汰  
BP女子個人 第6位 2年5組 横尾 ひなた
- ◆第14回長崎県高等学校冬季テニス選手権大会  
男子シングルス 第3位 2年6組 森 颯也  
男子ダブルス 第3位 2年6組 森 颯也  
1年4組 元山 聡介  
女子シングルス 準優勝 2年7組 竹内 碧彩  
第3位 2年1組 江口 星花  
女子ダブルス 準優勝 2年1組 江口 星花  
2年7組 竹内 碧彩  
第3位 2年5組 牧山 直生  
1年6組 児島 加純
- ◆令和7年度第35回長崎県高等学校冬季室内水泳競技大会  
男子総合 第3位  
男子50m背泳ぎ 第1位 2年6組 井上 泰我  
男子100m背泳ぎ 第1位 2年6組 井上 泰我  
男子50m自由形 第2位 2年7組 鈴山 瑞稀  
男子4×50mメドレーリレー 第3位  
2年6組 井上 泰我/2年4組 林 珠喜  
1年6組 下井手 瑠河/2年7組 鈴山 瑞稀
- ◆第45回全国高校生読書体験記コンクール  
優良賞 2年6組 藤本 峻雅
- ◆第71回青少年読書感想文長崎県コンクール  
課題図書部 最優秀賞 1年6組 荒木 祝子  
自由図書部 優秀賞 2年2組 高濱 彩音
- ◆広島・長崎模擬国連  
グランプリ 2年6組 宇都宮 權  
2年6組 谷口 巧磨  
最優秀パフォーマンス賞  
2年7組 下釜 彩智  
2年7組 山田 果穂  
最優秀スピーチ賞  
2年2組 池田 美羽  
2年7組 城門 礼翔

## 主な行事 2月

## 校長より

日 曜	主な行事
1 日	進研マーク模試（高2）
2 月	考査時間割発表
4 水	全校集会・受納式 第2回PTA常任委員会 生徒大会に向けて（高1・2）
5 木	ひがしチャレンジデー （高3特編授業）
7 土	学校開放（高3）
9 月	第4回考査 （中～10日、高～13日）
10 火	校内大会（中、午後）
11 水	学校開放（高3）
14 土	中学校入学予定者オリエンテーション （中） 学校開放（高3）
16 月	大掃除、検査場設営（高） GPS（高1、2）
17 火	高校入試（～18日） 生徒自宅学習（～19日）
20 金	長崎東安全の日 バス乗務員への花束贈呈（高3）
21 土	学校開放（高3、～22日）
25 水	第2回実力テスト（中、～26日） 国公立大学前期日程試験（～26日） 国際科合格発表
27 金	高校卒業式会場設営 予行、各種式典 通知表配布（高3）

2026年 挑戦から始まる1年

校長 田川 耕太郎

2026年がスタートしました。始業式では、「一年の計は元旦にあり。高い目標を掲げ、仲間とともに長崎東の校風にさらに磨きをかけ、このひがしを九州でも名だたる学校にしていこう」という話をしました。その直後、うれしい報告が舞い込んできました。剣道部女子が、11月の新人戦に続き、全国選抜大会県予選でも見事優勝し、全国大会への出場を決めたのです。準決勝は、全国屈指の強豪である島原高校を破っての勝利であり、大変価値のある成果となりました。日々の努力を積み重ね、仲間とともに「挑戦」し続ける姿勢こそが、まさに「東らしさ」であり、新年のスタートにふさわしい朗報となりました。

ところで、12月号では、長崎東を卒業した先輩の話として、1年前にノーベル平和賞授賞式に出席された本校の先輩、田中熙巳さんを紹介しましたが、今年の長崎ランタンフェスティバルの皇帝パレードには、前原瑞樹さんが登場します。前原さんといえば、数々のドラマに出演し、脚光を浴びているこちら本校の卒業生です。弁護士を志した時期もあったそうですが、高校時代に演劇の道を志すようになり、明治大学文学部へと進学されました。

先日、本校図書館を訪れた際、新刊コーナーに置かれていた川谷絵音さんの『持っている人』という本が目にとまり、手に取ってみました。川谷さんも長崎東の卒業生で、自叙伝であるこの本には、高校時代のことも綴られています。高校2年の冬、フジファブリックの「虹」の歌詞に出会ったとき、内面から湧き上がる衝動を覚え、音楽の道を志す決定的な瞬間となったことが、躍動感をもって描かれています。その夢を実現するため、東京の国立大学に照準を定め、受験勉強に打ち込んだとのことでした。音楽家として著名になった現在も、「やはり勉強は大事だ。厳しかった父に感謝したい」という言葉が、印象深く心に残りました。

分野は違えど、長崎東を巣立ち、それぞれの道で活躍する先輩方。自分の可能性を信じ、ひたむきに自らの夢に「挑戦」し続ける——それこそが、長崎東の生徒たちの中に受け継がれてきたマインドなのではないでしょうか。最近、そんなことを改めて感じています。